

### (3)種類別明細書(増加資産・全資産用)の記入例

◎次の資産を記入してください。

- 1 令和7年1月2日から令和8年1月1日までに取得した資産
  - 2 前年前に取得した資産で新たに申告されることとなった資産(移動・申告漏れ等)
  - 3 はじめて申告される方は令和8年1月1日現在の全資産
- ※摘要欄には、課税標準の特例等、取得した資産の説明を必要とする場合に記入してください。

令和 年度		種類別明細書(増加資産・全資産用)							所有者名		1枚のうち		
所有者コード		①		④		⑤		⑥		⑦		⑧	
1234567													
行番号	資産の種類	資産の名称等		数量	取得年月	取得価額	(イ)耐用年数	(ウ)減価残存率	価	(ア)課税標準の特例	課税標準額	(エ)増加事由	摘要
1	資産コード	③		年 号	年 月				額	率 コート			
1 1	コンクリート舗装			1 5 4 09		1500 000	15	0.929				① 2 3-4	
2 2	受変電設備			1 5 4 04		2500 000	15	0.929				① 2 3-4	
3 2	機械プレス			1 5 4 05		1500 000	8	0.875				① 2 3-4	
4 6	パソコン			1 5 4 05		800 000	4	0.781				① 2 3-4	××より ③ 移動
5 6	コピー機			1 5 3 12		1000 000	5	0.631				① 2 3-4	② 申告 漏れ
6												① 2 3-4	
7												① 2 3-4	
8												① 2 3-4	
9												① 2 3-4	
10												① 2 3-4	
11												① 2 3-4	
12												① 2 3-4	
13												① 2 3-4	
14												① 2 3-4	
15												① 2 3-4	
16												① 2 3-4	
17												① 2 3-4	
18												① 2 3-4	
19												① 2 3-4	
20												① 2 3-4	
		小計		5		7 300 000							

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他のいずれかに○印を付けてください。

### ■記入上の注意■

#### ① 所有者コード

- ・前年度までに申告された方は必ず記入してください。

#### ② 資産の種類

- ・資産の種類ごとに番号を記入してください。

- (1)構築物 (2)機械及び装置 (3)船舶  
(4)航空機 (5)車両及び運搬具 (6)工具・器具及び備品

#### ③ 資産の名称等

- ・製粉機、温水機等の具体的な資産の名称を左づめて記入してください。

#### ④ 数量

- ・資産の数量等を記入し、一式等の場合は「1」と記入してください。

#### ⑤ 取得年月

- ・資産を取得した年月、自家製のものは製作した年月を記入し、年号については、昭和は「3」、平成は「4」、令和は「5」と記入してください。

#### ⑥ 取得価額

- ・資産を実際に購入した価格(据付費・輸送費等を含む)を記入してください。

#### ⑦ 耐用年数

- ・耐用年数省令に定める耐用年数もしくは見積耐用年数のうち、事業所が実際に使用されているものを記入してください。

#### ⑧ 増加事由

- ・該当する事由に○印をつけてください。  
新品取得…1 中古品取得…2  
移動による受入れ…3 その他…4

#### (4) 前年中に減少した資産がある場合

- ◎償却資産種類別明細書に直接、赤二本線を引いて返送してください。
  - ◎原本を申告者とし、コピーを返送いただいても結構です。
  - ◎はじめて申告される方・白井市内に資産が無い方および、自社電算申告の方の場合は、この用紙は送付しておりません。

※減少資産とは、償却資産を売却、廃棄などによって形状がなくなったものをいいます。  
※簿外資産や耐用年数の経過した資産であっても事業に使用することができる場合は減少資産に該当しません。

## ■記入上の注意■

## 一部減少について

- ・所有資産のうち、一部分が減少した場合は、償却資産種類別明細書の品名を抹消し、残りの資産は種類別明細書(増加資産・全資産用)に新たに記入してください。